

ヘルスケア分野参入のための ユニバーサルデザインの重要性

ものづくり企業が「ヘルスケア（医療や介護）分野」に参入する際の課題の一つに「医療現場でのトレンドや動きが分からない」ということがあります。今回のフォーラムでは「ユニバーサルデザイン」をキーワードに、実際の現場での状況のお話に加え、国の施策等についてもご紹介いたします。

- ① 国が進める医療・福祉機器産業政策等の紹介・解説
- ② 医師からの医療・介護ニーズ情報として「障がい児の医療と介護現場」に関する講演
- ③ 障害者や高齢者でも普通（健常人同様）の生活が可能な
「社会的包摂：ソーシャル・インクルージョン」の実現に医工連携が果たす役割

☆ このような企業にお勧めの内容です ☆

- ☑ ヘルスケア・医療・介護機器の開発に興味がある（業界参入を検討している）
- ☑ 医療機器・介護機器（用品）の製造経験や販売予定があるが課題を抱えている

プログラム

■ 産業政策（業界）の紹介 14:30 ～ 15:00

「医療機器産業政策等について」

八尾市立中小企業サポートセンター 医工連携コーディネーター 平井 一満

■ 基調講演 15:00 ～ 16:00

「障がい児を支えるために － 小児外科医として －」

社会福祉法人 四天王寺福祉事業団 富田林障害児者医療福祉センター
四天王寺和らぎ苑 施設長 塩川 智司 氏

■ 講演 16:00 ～ 16:30（質疑応答含む）

「ユニバーサルデザインと医工連携 － 基調講演を受けて －」

八尾市立中小企業サポートセンター 医工連携コーディネーター 平井 一満

塩川 智司 氏 ご紹介（四天王寺和らぎ苑・施設長）

昭和54年に大阪市立大学を卒業した後、私は小児外科のある第二外科に入局、卒後の10年間は小児外科とともに心血管外科、肺呼吸器外科、食道・消化管外科、肝胆道膵臓外科、乳腺内分泌外科などの成人外科を学びました。小児外科の特徴の一つである全身を診る臨床医としての基礎を学べたことは、何にも代えがたい経験です。

その後、小児外科専従となり、平成9年 淀川キリスト教病院 に赴任、新生児を中心に、病気を持つ子どもを治すために努力を重ねてまいりました。淀川キリスト教病院時代には救急診療科部長も兼任し救急医療に関わり、また小児外科医として発展途上国への海外医療協力にも参加いたしました。



開催概要

開催日時

10月20日（木）
14:00-17:00

【参加費】 無料

【会場】 八尾商工会議所 3F セミナールーム

【申込】 ホームページまたはQRコードから
申し込み **（詳細は裏面）**

【主催】 八尾市・八尾商工会議所

問い合わせ先

八尾市 産業政策課 イノベーション推進係
☎ 072-924-3964 ✉ sangyou5@city.yao.osaka.jp

ヘルスケア分野参入のための ユニバーサルデザインの重要性

－ 障がい児を支える「ユニバーサルデザイン」の考え方 －

01 申込方法

[八尾市電子申請システム](#)を利用してお申し込みください。

申込ページの「手続き一覧(事業者向け)」をクリックし、
本セミナーを検索の上、お申し込み下さい。

八尾市電子申請システム

検索



▲スマホでも申込できます

02 アクセス

【会 場】

八尾商工会議所 3階 セミナールーム
(八尾市清水町一丁目1-6)

※お預かりした個人情報は、八尾市・商工会議所・講師からの
各種連絡、情報提供以外の用途では使用いたしません。

